

人間総合学群 観光文化学類							
氏名	張 景泰	職名	教授	専攻分野	観光学	学位名	博士(観光学)
主要業績 (著書・研究論文併せて 5 点以内)							
<p>1. 『東アジアにおけるメガスポートイベントと都市再編をめぐる比較社会学』 2009 年～2011 年度文部科学省研究費補助金 (基盤研究 (B)) 研究成果報告書, 2012 年 3 月, (共著)</p> <p>2. 「韓国におけるスキー場の開発」 立教観光学研究紀要 No.12, 2010 年 3 月, (単著)</p> <p>3. 「スキー場立地条件の分析による韓国スキー場の特徴－日本スキー場との比較研究－」 立教観光学研究紀要 No.12, 2010 年 3 月, (単著)</p> <p>4. 「韓国におけるスキー場周辺地域とスキー場門前町の形成－龍平スキー場を事例として－」 立教観光学研究紀要 No.10, 2008 年 3 月, (単著)</p> <p>5. 「日本と韓国における結婚・結婚式に関する相違」 駒沢女子大学研究紀要 No.24, 2017 年 12 月, (単著)</p>							
最近 5 年間の業績 (2018 年度～2022 年度)							
<p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「女子大学における観光系実務教育の取り組み」 駒沢女子大学研究紀要 No.27, 2020 年 12 月, (単著)</li> <li>・「東アジアにおけるスキー場開発とその歴史的経緯の特徴」 駒沢女子大学研究紀要 No.28, 2021 年 12 月, (単著)</li> <li>・「コロナ禍における遠隔授業の可能性と限界」 駒沢女子大学研究紀要 No.28, 2021 年 12 月, (共著)</li> <li>・ (The connection to the public's preferred sports analysis and physical education curriculum) PLOS ONE No.17 published March 16, 2022, (共著)</li> <li>・「日・韓における医療観光の取り組みに関する研究」 日本ホスピタリティ・マネジメント学会誌 HOSPITALITY No.33 2023 年 3 月, (共著)</li> </ul> <p>(口頭発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『観光をテーマとする言語コミュニケーション教育』 2019 年 3 月 2～3 日, 日本観光ホスピタリティ教育学会第 18 回全国大会 ワークショップ (於: 立命館大学 梅田大阪キャンパス)</li> </ul>							

・『オンライン授業の実践状況』2021年3月6～7日,日本観光ホスピタリティ教育学会第20回全国大会 ワークショップ (於: オンライン)

・『観光系カリキュラムからみた遠隔授業の可能性』2022年3月5～6日,日本観光ホスピタリティ教育学会第21回全国大会 (於: 成蹊大学)

・『中国におけるスキー場開発とその歴史的経緯の特徴』2022年3月7～8日,日本スキー学会第32回全国大会 (於: オンライン)

・『日・韓における医療観光の取り組み』2022年8月28日,日本ホスピタリティ・マネジメント学会第30回全国大会 (於: 熊本学園大学)

・『日・韓の医療インバウンドに 関連する制度と取り組みについて』2023年3月4～5日,日本観光ホスピタリティ教育学会第22回全国大会 (於: 四国大学)

(翻訳・通訳)

・『2018年南北首脳会談、同時通訳』2018年4月 (朝日テレビ)

・『2018平昌冬季五輪と江原道の蓄積戦略』2019年3月11～13日,日本スキー学会 発表者の日韓通訳 (於: 苗場スキー場プリンスホテル)

(教科書執筆)

・『ホスピタリティ概論』2019年4月 (駒沢女子大学 教科書シリーズ199、単著)

・『観光学』2019年9月 (駒沢女子大学 教科書シリーズ215、単著)

・『観光の韓国語』2020年9月 (駒沢女子大学 教科書シリーズ220、単著)

・『海外観光資源研究C (アジア1)』2020年9月 (駒沢女子大学 教科書シリーズ224、単著)

・『観光文化ゼミD』2021年9月 (駒沢女子大学 教科書シリーズ225、単著)